

特定非営利活動法人
日本再生プログラム推進フォーラム



団体概要・活動記録

2015 年 8 月

1. ご挨拶

NPO 法人日本再生プログラム推進フォーラム
理事長 藤原直哉

特定非営利活動法人日本再生プログラム推進フォーラム（NSP）会員のみなさん、こんにちは。平素は当NPOの活動に積極的にご参加いただきまして、まことにありがとうございます。おかげさまで今期も無事終えることができました。

日本再生をめぐる国内外の情勢は今年に入ってから一段とピッチが上がっております。安倍内閣に対する不支持率が急増し、また財政赤字問題が国債金利の上昇に跳ね返ってきて、ひとり安倍内閣に限らず、現在の日本の政治体制そのものが大きな壁に突き当たることになりました。与野党を見ても次の本物の日本再生を考えて行動できる政治家は非常に少数であり、新しい日本を創ることができる政治勢力もまだ見当たりません。さらに財政赤字に関しては来年度から骨太の方針として社会保障費の大幅削減が計画され、同時に中央から地方への補助金等の削減もますます激しくなっています。そうなってくると今までの常識で政府を運営することはますます困難になり、同時に世界を見てもバブルの崩壊や戦争、そして財政の行き詰まりからどこを見ても国内外の体制の混沌が増すばかりで、外に助けを求めるとか、外に知恵を求めるといことがほとんど難しい状況になっています。

こうした行き詰まりは政治だけでなく地方自治、金融経済、我々の日常生活など非常に広範囲に及んでいて、我々は根本的にイノベーションを行って新しい日本を再起動させるしかないところに立っています。

そうした状況のなかで我々NSPはこういう時代が来ることを早くから見通してさまざまな研究や提案を行ってきました。その結果、各方面での日本再生への道筋は、ロハス、観光、農業はもちろんのこと、民政自治、新しい地方都市の形態の模索、エネルギー源の多様化、若者のヨコ型リーダーシップ、メンタルヘルスの重視、組織を抜け出す自由人の増加、中小零細企業の活性化、先端分野への投資の必要性の強調などさまざまな分野で広がっておりまして、民衆レベルから始まるボトムアップの日本再生は、あまり積極的にメディアで報道されなくても、静かに、しかし深く日本の隅々にまで浸透しつつあるところだと思います。やはり我々が考え、目指している方向へ実際に日本は動いていると言ってよい段階に来たと思います。

さらに昨年度は日本再生フォーラム2015と題して大変実り多い集会を開催できましたし、各研究会、合同研究会も今年1月から始めたNSP時局ならびに日本再生戦略講演会をはじめ、大変活発に運営することができました。

来年度はこうした現状を受けて我々の活動の重点をこれまでの研究から運動に移し、日本再生国民運動を幅広く全面的に展開できるよう新しい運営方法に移行したいと思っています。

詳しいことは別紙をご覧くださいと思いますが、いよいよ我々は民衆が創る新しい日本を具体的に形にしなければならない時を迎えています。今年と来年が国内外の情勢が目に見えて変わる時ですから、我々も時代の動きに先んじて行動することが必要だと思っています。

来年度もぜひみなさんには積極的に活動していただき、また一人でも多くの方をお誘いいただきまして、NSPの活動を盛り上げていただければと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

2. NPO 法人日本再生プログラム推進フォーラム団体紹介

＜正式名称＞ 特定非営利活動法人日本再生プログラム推進フォーラム （通称：NSP）

＜事務所・事務局連絡先＞

主たる事務所: 東京都墨田区両国 3-25-5 JEI 両国ビル 3 階

事務局連絡先: TEL:03-3633-8631 FAX:03-5625-3672, staff@nipponsaisei.jp

＜発足・設立＞ 平成 15 年 10 月 16 日

＜登記＞

平成 15 年 10 月 16 日 内閣府認証 NPO 法人登記（会社法人等番号：0210-05-006588）

平成 25 年 11 月 13 日 認定 NPO 認定通知書の番号「25 生都管第 2083 号」

＜役員構成＞ 2015 年 8 月 1 日現在

理事長 藤原直哉（経済アナリスト、株式会社あえるば 会長）

理事 榎本恵一（税理士法人 恒輝 代表社員）

理事 鬼澤慎人（株式会社ヤマオコーポレーション 代表取締役）

理事 永井洋子（永井洋子税理士事務所 所長）

理事 三上靖彦（株式会社ミカミ 代表取締役）

理事 山口直彦（フルハシ EPO 株式会社 代表取締役）

理事 小川修（昴テクノロジー株式会社 代表取締役）

監事 佐藤茂則（有限会社ミック研究所 所長）

事務局長 永井洋子

相談役 熊谷弘（当 NPO 前理事長）

相談役 高橋栄作（当 NPO 前事務局長）

＜会員情報＞ 会員総数：543 名 2015 年 8 月 1 日現在

＜活動の基本構想＞

NPO 法人日本再生プログラム推進フォーラム(通称：NSP)では、わが国の経済が「内需中心の持続的経済成長によって」活性化するためには、新しい思想と技術のもとに日本の都市計画を抜本的に作り直し、まったく新しい日本の都市と田舎を作り直すことが必要だと考えています。そしてその過程で生まれる 21 世紀の新しい技術やノウハウ、製品が国際競争力の源となり、持続的な内需中心の経済成長の根源的エネルギーになると考えています。同時に日本各地固有の産業とライフスタイルを大いに振興させて、あらゆる地域の活力がみなぎらなければならないと考えます。

私たちは、日本の経済を活性化させるために、内需中心に十分に雇用があり、地方の繁栄、高齢化への対処、国際競争力の向上、温暖化問題への対処が同時に達成できるまったく新しい経済の枠組みを創造し、提言することを通じて、日本全体のあらゆる活力を高めるための活動を実践しています。

3. 活動方針

NSP の目指す日本経済の再生をひとことでいえば、「温故知新で生まれる 21 世紀の経済」です。それを実現する戦略をひとことでいえば、「戦略的低エネルギー社会の実現」です。

NSP ではかつて、日本経済再生の**具体的戦略**として**観光立国、新しい農業を提案**し、実際にそれが政策となって今や日本全国に観光と農業の新しい動きが広がっています。今回は、それらを**統合した本格的な提案**として日本経済の再生を総合的かつ戦略的に行っていきます。

<具体的活動方針>

1. 健康で持続可能なライフスタイル（ロハス）を広く浸透させることで戦略的低エネルギー社会を日本で実現し、それを基盤にした 21 世紀の偉大なる共生社会を構築するためのさまざまな研究、実践、政策提言
2. そうした新しい日本を創るために必要となる戦略的なポイントを各研究会によって深く掘り下げて研究し、未来を創造するひな形を創る
3. 健康で持続的なライフスタイルの構築を目指す人々や諸団体との連携
4. こうした成果を広く世の中に啓蒙するための勉強会、講演会、見学会、芸術活動の実施
5. インターネット放送を活用して健康と持続可能性の高い生活や仕事をしている人たちを多くインタビューして、相互の連携を強化し、新しい時代を担う人たちを浮かび上がらせる

<活動内容>

1. 各研究会および当 NPO の主催による勉強、研究、講演、見学会の実施
2. 芸術家との連携による芸術活動
3. 農園等を活用した健康で持続可能なライフスタイルの実践活動
4. 時局に対応した政策提言活動
5. 地方における勉強、啓蒙活動

4. 研究会

NSP 内にはより詳しく日本経済再生の具体的な方法を検討するために、各理事・監事が担当している研究会、分科会を設けています。それぞれの研究会や分科会は、単に個別の問題を検討するだけでなくに設けられたものではなくて、日本経済再生を行う上で戦略的に非常に重要になると思われる分野を抽出して設けられたものです。それぞれの研究会では、ただ学ぶだけでなく研究会参加者の実践事例などの意見交換できる場も創っていきます。

地域のひな型研究会 都市再生研究会 組織のリーダーシップ研究会 中小零細企業研究会
産業再生研究会 スピンアウト研究会 LOHAS ジャパン研究会 NSP 投資銀行研究会

また、今期はこれまでの各研究会の成果を踏まえて、日本再生戦略講演会を月に一回開催致しました。

<地域のひな型研究会>

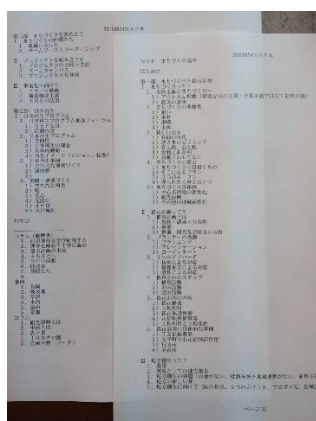
担当理事：三上靖彦

地域のひな型研究会では、「日本再生は地域から始まる」の信念のもと、『21世紀のまちづくり～日本再生プログラム～』の取りまとめや、再生イメージをビジュアルに示す『絵巻（エコイノベーションで実現するサステナブルなライフスタイル）』の普及と解説、また、それぞれの地域で地域再生のために立ち上がろうとする人たちが活用できる「日本再生ツール」づくりを進めてきました。そして第十二期では、より多くの方々に日本再生への道筋を示していこう、との考えのもと、これまでの成果を一冊の本にまとめる作業を進めております。また、絵巻の一層の普及に向け、『絵巻カレンダー』づくりを進めています。今後は、地域ごとの具体的アクションのサポートが出来れば、と考えています。

▼研究会活動

地域のひな型研究会では、現在下記の4つについて積極的に活動しています。

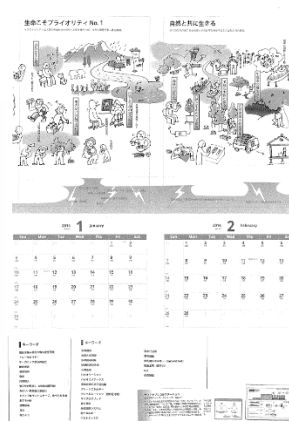
- (1) 「21世紀のまちづくり」提案書のバージョンアップ、ビジュアル化（「絵」づくり）
- (2) 絵巻の普及（絵巻の販売と絵巻カレンダーの作製）
- (3) 日本再生ツールの取りまとめ（本）と実践的アプローチの研究
- (4) 先進事例研究・視察（ロハス研究会と連携）



まちづくり読本（案）



絵巻カレンダー



<都市再生研究会>

担当理事：山口直彦

環境負荷の小さい循環型社会（低炭素化社会）の構築を、環境・リサイクルや林業という切り口から考えます。また環境・リサイクルや林業によって生まれるバイオマス燃料は日本発の21世紀の新しいエネルギー資源として、日本の海外貢献にも役に立つと考えています。

この研究会は名古屋を拠点に活動しています。

明快な未来志向で進める都市再生。根本は『街造り』の前に、人と地球に優しい『人造り』。資源・エネルギーを、効果的に活用（カスケード利用、Reduce、Reuse、Recycle）して再生された都市は、エネルギー、食料、セキュリティの最低限の安全保障が確立される都市。ここでは、インフラを俯瞰的

に眺め整備し、持続可能性、生物多様性、低エネルギーの仕組みの上に成り立ちます。その上で、今と未来が安心安全快適、つまり幸せが実感でき、人と地球に優しい街として蘇ります。

◎研究会活動

1. NSPメッセージの配信

第67回『政府事故調査委員会ヒアリング記録と希望の牧場・ふくしま』

第72回『衆議院総選挙前の原発に対する各党のスタンス』

第78回『2015年度の幕開けとハイクオリティオブ セカンドライフ』

第87回『日本再生に向けて ～震災復興と都市再生、山間漁村の再興と再生から日本再生を展望する～』

2. 都市再生に向けた取り組み

森林・林業（林地集約化、測量、間伐など）

都市型大規模バイオマス発電施設（川崎バイオマス発電）の実践と視察

中小規模型バイオマスガス化発電システムの開発

ブログでの情報発信：<http://greenjapanproject.blogspot.jp/>

3. 研究会

NSPフォーラム名古屋開催

日時：2015年6月25日（木）

<https://nipponsaisei.jp/events/201>

『日本再生に向けて』

～震災復興と都市再生、山間漁村の再興と再生から日本再生を展望する～

日本再生に向けて、藤原理事長の基調講演から始め、東北大震災、津波被害地域の復興に向けた私たちの期待の星のひとつである灯火。また、過疎や産業疲弊に喘ぐ山間漁村の中でもきらりと光る原石があることを思い知らされた内容として、地震・津波に見舞われた岩手県大船渡市における未来に向けた取り組みを戸田市長の特別講演としてお話しいただきました。その後、熊野古道の世界遺産登録に沸く三重県尾鷲市は、自然環境は同じくリアス式海岸とそびえる山々に囲まれた地域における取り組みを実例として、（株）熊野古道おわせ支配人の伊東将志にご登壇共有させて頂き、都市再生と日本再生について、パネルディスカッションとして課題提起と意見交換をおこないました。





＜組織のリーダーシップ研究会＞

担当理事：鬼澤慎人

この研究会は、多くの企業・組織が時代の激しい変化の中でも、常に価値を創造していくこと、そして関わるすべての人を幸せにする「すばらしい経営」の実現（経営品質向上）を支援していきます。働く人たちのロイヤリティが高く、創意工夫に溢れてチームワークの良い組織（組織力向上）を創るために求められる「リーダーシップ」について、研究と学びの場を提供していくことを目的とします。

教える・教わるという研修ではなく研究会。頭で理解することも大切ですが、もっと大切なことは「気づき」。そのためには体験学習が必要です。「行って、見て、聞いて、感じる。そして実践して、実践したことをきちんと反省する」を研究会のモットーとしています。

しかしながら今年度は勉強会のみで、実際に現地に行く研究会活動がほとんど休止状態であったこと、会員みなさんには深くお詫びいたします。

次年度は「すばらしい経営」を実現している企業を学ぶこと、実際に現地を訪問する研究の機会をつくらせていきますので、どうぞよろしくお願いします。

<中小零細企業研究会>

担当理事：榎本恵一

ワークライフハピネス分科会の役割

「ワークライフハピネス」は「ワークライフバランス」を更に高めたテーマです。皆様の周りの就業環境は如何でしょうか。上司、部下が気軽に意見を言い合える風通しの良い環境でしょうか。バランスでは無く「ハピネス」に近づけるべく私たちは事例研究を行っております。

2014 年 9 月 18 日（木）印南製作所工場見学

NSP会員久田さんが勤務している印南製作所の工場見学を行いました。

残念ながら久田さんは当日、会社の行事がある為欠席され

ましたが、中小零細企業研究会に積極的に参加され、研究会で学んだことを実践されており、職場の風通しも良くなったそうです。

工場見学会当日には、印南製作所代表の

印南英一社長も久田さんのご活躍ぶりを嬉しそうに話されていました。



2015 年 6 月 20 日（日）御谷湯

見学場所は、お風呂屋さん、

それも国内では珍しい「福祉型銭湯」を

皆さんで見学し実際に入浴も致しました。

これは、日頃の研究会の中で

会員の白川さんから頂いた、



真新しいビルになってお風呂屋さんがリニューアルされるとの情報により、何回かの会議や下見を行い実現したものです。地元墨田区にお住まいになられている方も多数ご参加頂き、日頃できない会員とのコミュニケーションが出来たことは大変な収穫でした。

今後とも中小零細研究会では、ワークライフハピネス、心助っ人とともに、私からも、中小零細企業の問題を皆様と考えていきたいと思います。

是非一度中小零細企業研究会を見にきて下さい、楽しい「場」があります！



<中小零細企業研究会 心助っ人隊>

担当理事：佐藤茂則

心問題は平成26年6月の国会でメンタルチェック制度が義務化され今年の12月から施行となります。日本再生の活動を進める中で心問題への対応は 欠くことのできないテーマと考え、平成23年3月より中小零細企業研究会の分科会として、メンタルレスキュープロジェクトがスタートしています。その後「心助っ人隊」と名前を変え、心問題への対応を話し合ってきました。メンタル不調を訴える人は増えています。人の心が弱くなったからでしょうか。そうではないと思います。人の心そのものは今も昔もその本質において変わらないと思います。時代の変化と社会の変化の中で対応力が十分に身に着く間がなく疲弊しているのが現代に生きる私たちの心の問題と思われます。それ故に日本再生に欠くことのできないテーマなのです。今後、研究会が再編されますが、引き続き以下の内容で取り組んでいきたいと考えています。テーマは4つです。

1. 個々の持つストレス対処能力に係ること。

単にストレス対処ではなく自己理解を深めながら自らの生きることを考えることだと思います。

2. 家庭における癒し力向上に係ること。

家庭、家族は生きる根幹です。人の歴史は家族の歴史です。その歴史を考えながら家庭機能の見直しと家族を持つことの意味を考えることが大切です。

3. 職場におけるメンタル対策に係ること。

企業は働く場です。病気を扱うことは出来ません。それ故にメンタル不調者が出ないような職場風土と従業員教育、不調者が出た場合の歯止め対策と外部機関との連携が大事です。

4. 地域におけるサポート活動に係ること、たまり場とサポーターの存在。

社会はグローバル、しかし、私たちが生活している地域は狭くなっています。世界のニュースは知っていても近所のことは知らない現実があります。昔の井戸端会議ならぬ“たまり”場づくりとサポーターの存在は大きいと思います。

こころのたまり場をつくってワイワイガヤガヤやりましょう。こころの再生はそこから始まります。

<スピニアウト研究会>

担当理事：永井洋子

みなさん、こんにちは！スピニアウト研究会です。これまでも何回かご紹介していますが、私たちの研究会は「半農半X」を合言葉に活動しております。「半X」の部分は、個人の強み・経験・志向に基づき個人が研鑽を重ねつつ、「半農」の部分は、多摩黒川農園で野菜づくりをみんなで楽しくやっております。2015年度の活動としての目玉は、何と言っても、昨年まで160坪だった農地が今年から360坪に増えたことです。昔の単位で300坪を一反と言いますが、ついに一反を超えました！そして、漸く、無農薬・無化学肥料で育てたソラマメの販売を達成したことです。仲間と一緒に、新鮮・安全な野菜をビールとともに美味しくいただくのはたまらない贅沢ですが、やはり手塩にかけたソラマメを購入いただき、「美味しかった！」「いつも食べているのと全然違う！」などの感想をいただくのは、無上の喜

びで、さらなる向上心、挑戦の心が沸々と湧いてきます。会員も着実に増えています。今年はさらなる飛躍を目指して、いろいろなアイデアを実行に移していきたいと思います。そうそう、NSP 農業サミットの開催も企てています。

「農」をやっているお仲間の皆様、今度是非集いましょうね！



<LOHAS ジャパン研究会>

担当：山中茂樹

LOHAS ジャパン研究会は、当 NPO が掲げる 21 世紀の文明開化による日本再生を促進し、LOHAS＝健康で持続可能な社会の実現を目指して「知って、行って、見て、会って、学び、そして実践する」をモットーに活動しています。

活動概要：

- 全国各地の持続可能なチャレンジや様々な取り組み（成功事例、試み、種）を集め、発信する。
またそこから成功要因や課題などを検証する
- 様々な取り組みをしている方達と交流し、横につなげ世の中を変革する大きな力とする
- LOHAS な世界への関心を高める、LOHAS 層の拡大
- 新しいライフスタイル・新しいワークスタイルの研究と実践
- LOHAS な社会を実現したい人たちに対する場の提供

今年度は、演劇を地域づくりに活用した活動イベント『演じることで発見される地域の課題、生まれる対話』や、茨城の方々との共催で第 1 回里山資本主義フォーラムを藻谷浩介さんをお招きして筑波大学にて開催しました。

来年度は、たまり場を中心に全国各地で活動している方々の現場訪問ツアー、また LOHAS な事例データベースサービス Lohaspedia (LOHAS な Wikipedia) の開発なども本格的に行って行く予定です。



<NSP 投資銀行研究会>

担当理事：藤原直哉

NSP投資銀行研究会は、日本再生に必要な戦略的投資を行う投資銀行の理念と戦略を研究する研究会として昨年発足しました。今年はNSP時局ならびに日本再生戦略講演会が毎月開催されたのでなかなか開催日数を増やすことはできませんでしたが、全体を通じて各界のツボをよくご存知の方において、投資銀行の運営にあたって必要なこと、注意すべきことなどについて勉強し、また理解を深めることができました。

現実に日本でも以前からマイクロファイナンスとして個人が起業しやすいようにどのように資金を提供したらよいかとか、金融システム内部に貯まる2百兆円の短期資金をいかに日本の未来の建設に回すかについて、なかなか良い知恵が出ずに今日まで来ています。

投資銀行というのは実質的には日本経済運営のエンジンになるところですから、日本再生の具体的な動きのなかで何らかの形態でこうしたエンジンを整えて動かさなければなりません。

来年度からは研究会がたまり場に移行しますので、たまり場を通じてより具体的に何ができるかを多くの人の知恵を集めて考えていきたいと思っています。

どうぞ引き続きよろしくお願いいたします。

<時局ならびに日本再生戦略講演会>

第1回 1月10日 講師：藤原直哉 「日本再生の総合戦略」

第2回 2月14日

講師：藤原直哉 「時局」「われわれが直面するパラダイムシフト」「日本再生戦略の基本」

講師：三上靖彦（地域のひな型研究会 担当理事）

「パラダイムシフトに対応した新しい地域の創りかた」

第3回 3月14日 講師：藤原直哉「時局」「政治を巡る誤解と真実、そして新しい政治」

第4回 4月18日

講師：藤原直哉「時局：滑り出した内外体制」

「提言：21世紀の文明開化を基軸とする日本再生戦略」

講師：小川修（産業再生研究会 担当理事）

「64歳のスピニアウトー日本のイノベーションを進める方法」

第5回 5月16日

講師：藤原直哉「流動化が進む体制の枠組み」「日本再生戦略」

講師：鬼澤慎人（組織とリーダーシップ研究会 担当理事）

「企業経営の品質を高める道－経営者の質をいかに高めるか」

第6回 6月20日「日本再生は中小企業から」

講師：藤原直哉「6月の情勢といま大切なこと」

講師：阿部重利氏 ヒューマンコンサルティング株式会社 代表取締役

「中小企業の繁栄を目指して！」

講師：伊藤林（しげる）氏 有限会社御谷湯 取締役 「福祉浴場を生かした地域再生」

講師：佐藤茂則（中小零細企業研究会 心助っ人隊 担当）

「心問題に始まりも終わりもない」

講師：榎本恵一（中小零細企業研究会 担当理事）「日本再生は中小企業から」

特別勉強会 6月18日（外交）

講師：衆議院議員 山口壯氏「日本外交の現状と未来」

<合同研究会>

近江の歴史から感じる日本再生の春ツアー

2015年4月4日(土)

毎年恒例の春の京都ツアー。今年は天智天皇が理想の国を目指して造られた 大津京にゆかりのある地を藤原理事長に解説して頂きながら桜満開の大津を皆様で巡りました。

大津京は戦後(白村江の戦)の復興という目的もあり飛鳥より遷都し、画期的な新政治を推進され、国力の充実を図られたもので、壬申の乱により都は5年半で終わることになったもののその後も施策は受け継がれ さらに発展し、国の礎を築いたと言われています。特に皇室における天智天皇の地位は高く、昭和天皇は近江神宮(ご祭神天智天皇)にお言葉を伝えられた際、困難を排し日本の運命を導かれたことを模範とすると表されてもおられます。



時代劇の舞台裏をみる -- 日本再生と時代劇リバイバル --

2015 年 4 月 5 日(土)

東映にて数々の時代劇や極道の妻たちなどを手がけた映画監督の中島貞夫監督と東映京都撮影所のご協力をいただきまして、東映京都撮影所内で斬り役斬られ役の俳優さんによる殺陣の実演と解説、スタジオセット見学など時代劇の舞台裏を見学するイベントを開催しました。

1. 映画監督 中島貞夫監督 講演
2. 殺陣実演 「切り役切られ役」 俳優さんによる殺陣実演と解説
3. 撮影所内見学 録音ダビング室・小道具・スタジオセット案内付見学
4. 藤原直哉理事長 講演





＜全体イベント＞

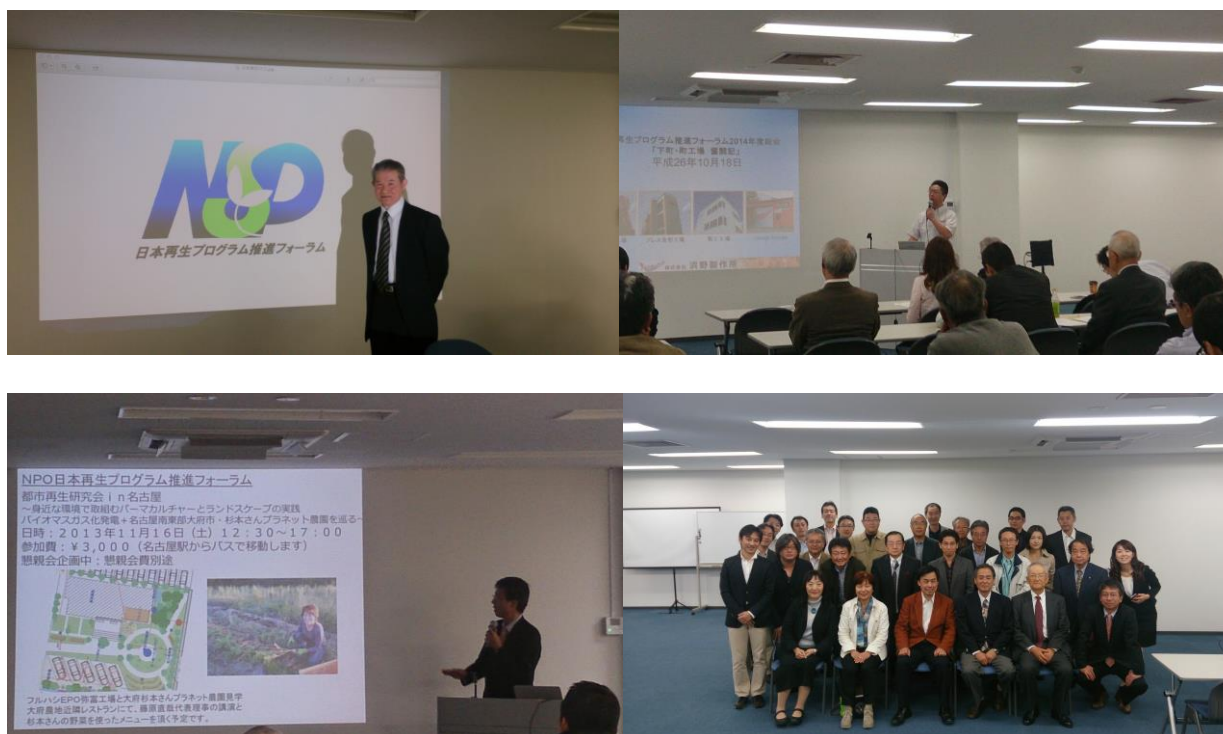
＜NSP 第 12 期総会＞

2014 年 10 月 18 日（土）

テーマ：「日本の原点・民衆が日本を再生する」

内容：新ロゴデザインの発表が行われました。

「日本の原点・民衆が日本を再生する」と題して、藤原直哉理事長の基調講演、ゲスト講演に「下請けから開発へ。進化する町工場」として大変注目を集めている浜野製作所の代表浜野慶一さん。そして、各研究会の活動発表が行われました。



<日本再生プロジェクト2015>

2015年7月4日（土）@科学未来館（東京都江東区青梅）

テーマ：未来を拓くのは、一人一人のリーダーシップだ

講師：高野登氏 人見ルミ氏 藤原直哉理事長 鬼澤慎人理事

内容：

基調講演

「草の根から地域と日本を再生する方法・・・独自に進化を進めるヨコ型リーダーシップの世界」

（藤原直哉理事長）

特別講演「日本再生のリーダーシップ」（高野登氏）



パネルディスカッション「日本再生へのロードマップを考える」

（高野登氏 藤原直哉理事長 鬼澤慎人理事 コーディネーター：人見ルミ氏）



5. ソーシャルメディア部

世界各地、全国各地の会員さんとヨコにつながりながら活動をしていくために、NSP ではさまざまソーシャルメディアをツールとして活用し、定期的に情報公開・活動記録・交流の場を発信しております。

<NSP ホームページ> <https://nipponsaisei.jp/>

<Facebook><https://www.facebook.com/nipponsaisei>

<twitter> [nipponsaisei](#)

<NSP ブログ><http://blog.nipponsaisei.jp/>

オンラインたまり場の日本再生チャットをオープンしました。（ご利用方法は HP のお知らせをご参照ください。） <https://nipponsaisei.jp/notices/10>



<HipChat>

<https://nipponsaisei.hipchat.com/invite/365707/249fae0fa60b9bc56b9eab2da6d0d185>



<お問合せ・連絡先>

NPO 法人日本再生プログラム推進フォーラム (NSP)

〒130-0026 東京都墨田区両国 3-25-5 JEI 両国ビル 3 階

TEL:03-3633-8631 FAX:03-5625-3672 E-mail:staff@nipponsaisei.jp